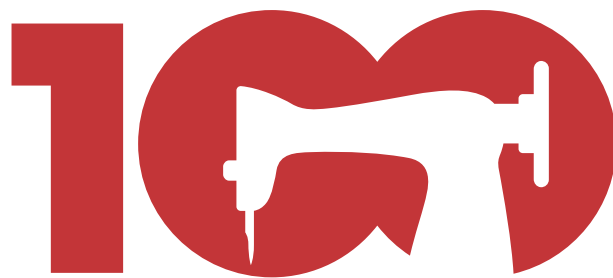


ジャノメ100年史

1921-2021

JANOME



YEARS
since 1921

ジャノメ100年史

踏み出す響き。

ラジオ放送、タクシー、文化住宅。

大衆文化が芽吹いたこの時代に、初の国産ミシンが現われる。

「パイン500種53型」、1921（大正10）年のことである。

舶来ものではなく国産でこそ普及する

— それは、創業者小瀬與作の信念だった。

初号機の小型手廻し式から足踏み式の家庭用ミシンへ。

そして、月掛予約・月賦販売を創案し、

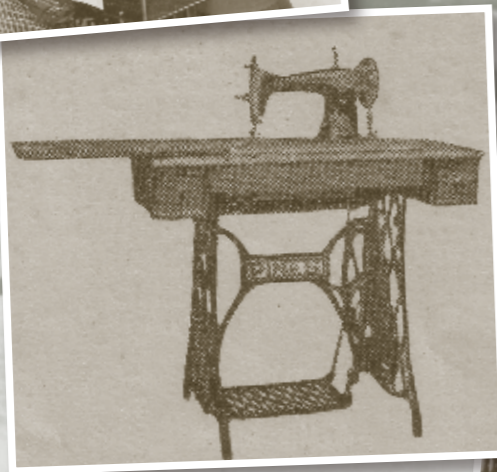
より多くの家庭にミシンが届く道が拓かれた。

ミシンを踏む響き。

それは、母が家族に愛を込めて奏でる調べであり、

洋装文化の扉を開き、

女性たちが自らを前に歩み進める足音であった。



時代の予感。



戦争が終わって10年が経とうとしていた。

混乱と空腹の日々をくぐり抜け、戦後のベビーブーム世代は、

日本の成長をけん引する主役へと育ちつつあった。

ミシンといえば黒。

そんな常識を覆したシルバーのミシンは、

今までとは違った輝きを放ち、

新しい時代の幕開けを感じさせた。

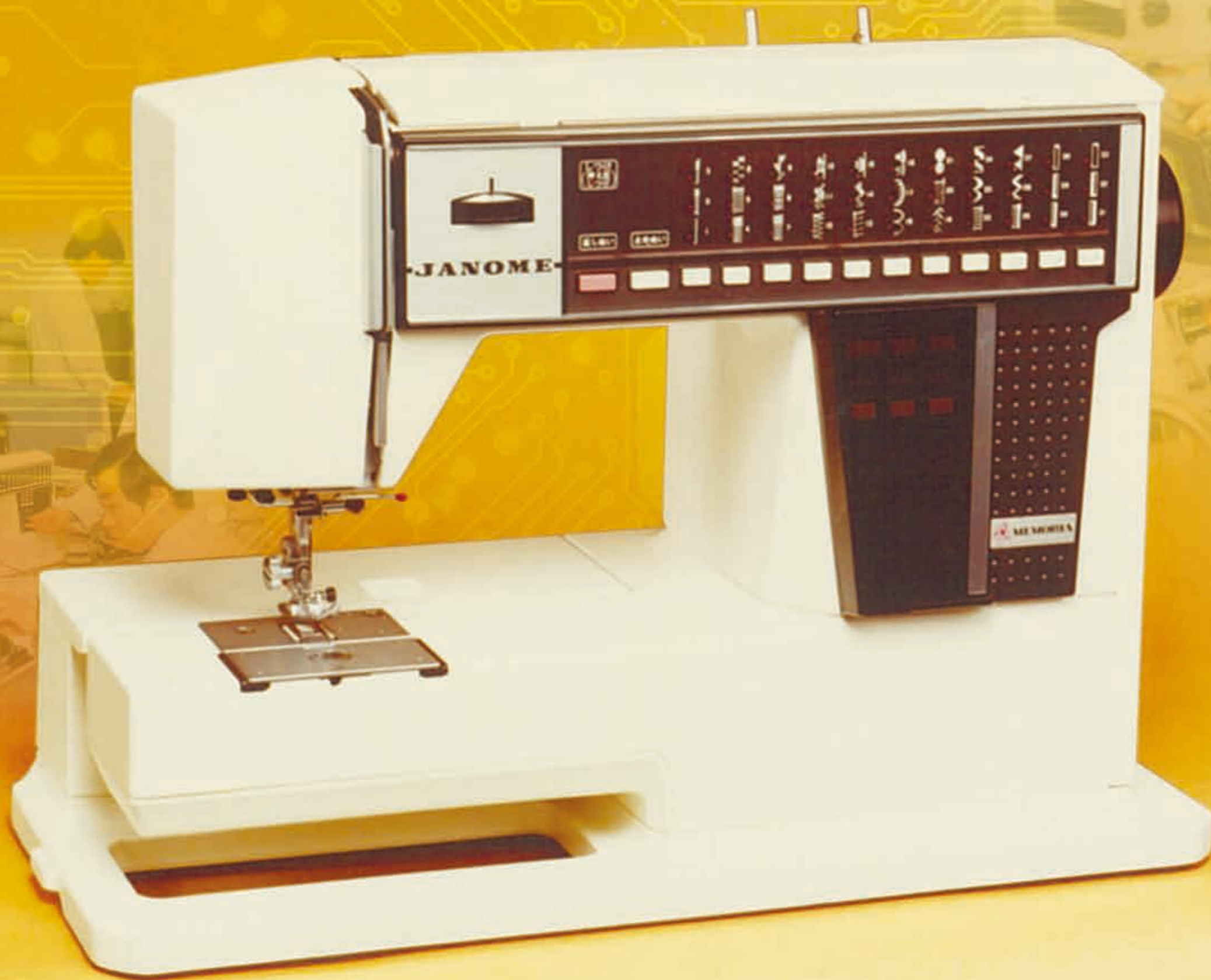
インダストリアルデザイナー小杉二郎が手がけた320型。

それは、高度経済成長、工業化社会、大衆消費社会の

始まりを告げるシンボルであったのかもしれない。



進化の 実感。



初の国産ミシンメーカーは、
初の国産コンピュータミシンメーカーとなった。

1970年代は今日の名だたる
コンピュータメーカーが産声を上げ、
パーソナルコンピュータが出現した時代である。

手探りを繰り返し、失敗の数だけデータが蓄積される。

知見も豊かになっていく。
開発の可能性の宝庫であり、苦心の報酬である。

コンピュータミシンなら、キーに触れるだけで
縫いたい模様を組み合わせてオリジナリティあふれる作品ができる。

ミシンの進化を、そこから実感した。

解く力。

スマートフォン。その生産現場に、
ジャノメの技術が導入されている。

ミシンで培った位置制御技術が、
製品の精度向上とともに働き方改革、
人手不足の解決策として貢献をしている。

ミシンがエレクトロニクスと手をつなぎ、
メカトロ製品となったとき、新たな世界が広がった。
針と糸を精緻に動かし送るテクノロジー。
その精密な技術が、工業製品の生産現場で求められ、
新たな活躍の舞台となった。

世界の生産現場が抱える多様な課題。

その解決策を産業機器製品としてカタチにする。
高性能で容易な操作を実現する開発姿勢は、
ミシンで培った。



JANOME、 第2世紀。

‘machine’の最先端を国産化し

グローバルに展開してきたJANOME。

地道にひたむきに改良に打ち込んで積みあげた高性能、高機能を

コンパクトに収め、誰もが使いやすいmachineに仕上げ、

家庭で、工場で、思い思いのイメージーションを

描かれる未来をかたちにして1世紀を歩んできた。

2020年代、地球社会は新たな困難に遭遇した。

戸惑い、なす術が失われたかに思われた日々が続いた。

そんな時代にこそ

人の心を豊かにひらき、よろこびをとり戻すパートナーとして

求められる価値を社会に送り届ける匠として

JANOMEは第2世紀を歩みはじめている。



JANOME

刊行のあいさつ

2021年10月16日、株式会社ジャノメ(旧社名:蛇の目ミシン工業株式会社)は創業100周年を迎えました。これもひとえに、お客さま、社員をはじめ、当社とともに歩み、長年にわたりご支援を下された皆さまのおかげであり、それを記念してここに創業100年史を編纂刊行できますことを心より感謝申し上げます。

当社は、1921年東京滝野川で日本初の国産ミシンメーカーとして創業いたしました。そして大きく変わりゆく時代のなかで、家庭用ミシンの製造販売を通じて、日々お客さまに喜んでいただくための「モノづくり」に向き合ってきました。その根底には確かな技術力と強固なチャレンジ精神があったと自負しております。

手廻しミシンでひと針目をスタートした私たちは、今日では最新のコンピュータを備えながらも、誰もが手軽に簡単に使える家庭用ミシンを世界中にお届けしています。その技術は、新たな時代を支える産業機器製品へと発展しております。そしてこれからも地道に実直に皆さまのご期待に添うべく、高品質で価値ある商品とサービスを提供し、人々の豊かで創造的な「モノづくり」に貢献していく所存です。

これまでも当社では創業50周年に際して「創業50年史」を発刊いたしました。そしてこの度、新たに50年の歴史を積み重ね、大正・昭和・平成・令和の時代をさまざまな苦境をともに乗り越え生き抜いた100年の物語として100年史を編纂いたしました。編集にあたっては、多くの関係者の皆さまから貴重な資料のご提供や、取材などにご協力をいただきました。この紙面を借りて、厚くお礼を申し上げます。

当社はこのほど、新中期経営計画「Reborn 2024」を策定いたしました。この計画では、「これからの100年に向けた持続可能な成長」をスローガンに掲げておりますが、節目となる100周年を経て、この先の持続的成長への礎を築くべく新たな一歩を踏み出しました。時代や取り巻く環境が変わり、世の中はさらに大きく変わっていくことと思います。当社はこの先50年、100年と、皆さまの創造的な生活の向上や社会・文化に貢献することで、親しみやすく身近な存在の企業となるよう日々努力を重ねてまいります。今後とも、より一層のご支援と、さらなるご厚情を賜りますようお願いを申し上げ、記念誌発刊のご挨拶といたします。

2022年6月
株式会社ジャノメ
代表取締役社長 齋藤 真



ジャノメ100年史 目次

刊行のあいさつ

株式会社ジャノメ 代表取締役社長 齋藤 真

本編

第1部 創業からの半世紀

第1章 創業 1921-1936 ……002

- 1 ミシンとの遭遇 ……002
- 2 小瀬與作、龜松茂、飛松謹一、パイン裁縫機械製作所の創設 ……003
- 3 国産第一号、標準型本縫ミシン「パイン100種30型」完成 ……004
- 4 国産ミシン初の法人、パインミシン株式会社誕生 ……005
- 5 中野に工場を設立、敷地に日本洋裁学校を開校 ……006
- 6 「蛇の目ミシン」商標の認可を得る ……007
- 7 国産初のミシン量産工場、小金井工場が竣工 ……008

第2章 蛇の目ミシン工業株式会社の発足 1937-1959 ……010

- 1 戦時下、音響兵器を製造 ……010
- 2 戦後復興期の混乱 ……012
- 3 直営組織を基盤とする予約・月賦販売を開始 ……013
- 4 蛇の目ミシン工業株式会社に社名変更 ……015
- 5 小杉二郎デザインの320型ミシンがデザイン審査で特選第一席に輝く ……016
- 6 ジグザグミシンへの積極展開 ……017

第3章 飛躍の時代 1960-1971 ……018

- 1 嫁入り道具はミシン ……018
- 2 アメリカ、ニューホーム社を買収 ……019
- 3 東京・大阪証券取引所市場第一部への上場 ……020
- 4 東京オリンピック開催記念モデル「ハイドリーム」発売 ……021
- 5 八王子に技術研究所竣工 ……023
- 6 京橋に本社ビル完成 ……024
- 7 台湾・ジャノメミシン株式会社を設立 ……025
- 8 全国に530支店を展開。創業50周年を迎える ……025

第2部 創業半世紀からの50年のあゆみ

第1章 ホームソーイングの時代 1972-1978 ……028

- 1 ドルショック、オイルショックが世界を襲う ……028
- 2 ソーイングセンター開設、ホームソーイング教室開講 ……029

- 3 人気を呼ぶ原寸大型紙「ジャノメフィットパターン」 ……030
- 4 フリーアームミシン「エクセル」がヒット ……031
- 5 科学技術庁長官賞を受賞 ……033
- 6 輸出は伸長するも円高に苦しむ ……033

第2章 コンピュータミシン市場を拓く 1979-1988 ……035

- 1 成熟化する国内ミシン市場 ……035
- 2 国産初のコンピュータミシン「メモリア」発売 ……036
- 3 「メモリークラフト」、イギリスでブルーリボン賞、日本でグッドデザイン賞を受賞 ……037
- 4 シアーズ・ローバック社との契約調印、北米市場を広げる ……038
- 5 アジアに新たな拠点、タイ・ジャノメ株式会社を設立 ……039
- 6 ミシン生産で培った技術を活かし、エレクトロプレス、真空注型装置誕生 ……040
- 7 家庭向け新市場の開拓、「湯あがり美人」新発売 ……041

第3章 エレクトロニクスを軸に新市場に挑む 1989-1996 ……042

- 1 内需拡大、バブル景気の到来 ……042
- 2 総合生活提案企業を目指して ……042
- 3 大幅な組織改革と生産子会社の統合・合併 ……044
- 4 創業70周年モデルとして、コンピュータミシン「セシオ」、ジグザグ&ロックミシン「コンビ2300SX」発売 ……046
- 5 「湯名人」登場 ……047
- 6 バブル崩壊のもと、体質改善への取り組み ……048
- 7 高尾新工場の稼働 ……048
- 8 卓上ロボット「JR500」、「JR750」の発売 ……049
- 9 輸出の伸長 ……050

第4章 経営構造改革を進める 1997-2006 ……051

- 1 デフレに陥る日本経済のもと、存続をかけて「Sプラン」を遂行 ……051
- 2 サービス事業部門を分離、株式会社ジャノメサービスが発足 ……052
- 3 大型刺しゅう機能内蔵「スーパーセシオ」、進化して「セシオ11000」発売 ……053
- 4 ソーイング教室「ショップ吉祥寺」オープン ……054
- 5 「湯名人スーパーCL」発売、6年ぶりにテレビコマーシャル再開 ……054
- 6 国内外の多様なニーズに応える産業機器 ……055
- 7 アジアでの生産強化、ジャノメダイカストタイ株式会社設立 ……056
- 8 ブランド戦略の強化、スイスのエルナ社を買収 ……057

コラム 株式問題 ……059

第5章 本社機能を八王子に集約 2007-2014 ……060

- 1 リーマンショックが押し寄せる ……060

- 2 本社を八王子に移転 ……062
- 3 刺しゅう機能内蔵「セシオ11500」、
広いソーイングスペースの「メモリークラフト7700 HORIZON」 ……062
- 4 「メモリークラフト7700 HORIZON」など3機種、グッドデザイン賞受賞 ……063
- 5 ミシンが楽しめる吉祥寺「Bobinage」、「ジャンメソーイングパーク長岡店」オープン ……064
- 6 産業機器の展開、拡大 ……065
- 7 世界の代理店が結集するジャンメ・インスティテュート、「Memory Craft 15000」発表 ……066
- 8 前払式割賦販売が終了を迎える ……067

第6章 新生ジャンメへの飛翔 2015-2018 ……068

- 1 産業機器事業、第二の柱へ ……068
- 2 刺しゅうミシン「セシオ14000」、1頭7針刺しゅう機「MB-7」を発売 ……070
- 3 監査等委員会設置会社に移行 ……072
- 4 10年ぶりに配当を実施 ……072

コラム 学校教育への取り組み ……073

第7章 第二世紀へ 2019年から現在 ……074

- 1 大場社長が代表取締役会長、齋藤取締役が代表取締役社長に就任 ……074
- 2 家庭用ミシン生産累計7,000万台を達成 ……075
- 3 創業100周年を迎える ……075
- 4 ジャンメは世界の人々の豊かで創造的な生活の向上を目指す ……077

特集 ……078

お客さまとミシン ……078

JANOME PROJECT STORY ……081

資料編 ……089

歴代社長 ……090

業績推移 ……092

関連グループ会社 ……096

組織図 ……098

年表 ……099

編集後記 ……111

凡例

1. 本書の記述・収録範囲は、原則として2022(令和4)年4月までとした。
なお、必要な場合はその後の事項・データなどについても適宜記述・収録した。
2. 年号は原則として西暦を用い、必要に応じて和暦を併記した。
3. 用字用語は、原則として常用漢字、現代仮名づかいを用いたが、固有名詞、専門用語、慣用語などはこの限りではない。
4. 地名は原則として当時のものを用い、必要に応じて現在の地名を併記した。
5. 外国語・外来語、外国の地名・人名などは、原則としてカタカナ表記とした。
ただし、海外の法人名に関しては、この限りではない。
6. 「株式会社」などの法人格を原則として記載した。
法人の名称は当時のものとし、必要に応じて現社名を併記した。また、適宜略称を用いた。